

見附特別支援学校 学校だより

見附市立見附特別支援学校
令和7年度 第5号
令和7年12月23日
新潟県見附市月見台1-10-74
電話 (0258) 63-2210
E-mail mitsuke.tokubetsu-ss@edu-niigata.ed.jp



大人の秋のバス旅行 行ってきました

教務主任

11月4日(火) PTA行事部主催の保護者研修会が行われ、11名の保護者のみなさんと2か所の施設見学に行ってきました。どちらも、3月まで高等部に在籍していた卒業生が就労している施設です。Aさんは、特別養護老人ホーム「大平園」でベッドのシーツ交換に取り組んでいました。職員の方の助言をしっかりと聞き、笑顔で前向きに仕事を進めている姿が印象的でした。Bさんは、地域活動支援センター「UNEHAUS」で農作業や販売活動を担当していました。「将来はトラックの運転手になりたい。」と話す姿は頼もしかったです。二人ともこの半年ですっかり社会人らしくなり、毎日やりがいをもって頑張っていました。私も卒業生の見事な成長ぶりを見て、胸が熱くなるような思いになりました。それぞれの施設で、職員の方から子どもたちの就労についてお話をうかがいました。就労に際して大切なこととして挙げられていたのが「あいさつ」「時間を守る」「誠実さ」という言葉です。学校で日々の教育活動を進める中で、心に留めておきたいキーワードだと感じました。

今回の研修会は穏やかな小春日和に恵まれました。UNEHAUSではおいしいランチをいただき、マイクロバスの車中では、みなさん和我あいあいと過ごされていました。さながら大人の秋のバス旅行。子どもたちの将来について学び、参加者同士の親睦を深めることもできた、充実の一日となりました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 学部紹介 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆ 小学部 ◆ ◆ ◆



12月2日(火)に他学部の学級と交流活動をする「まごころ交流会」を行いました。

「じゃんけん列車」「よさこい太鼓体験」「ピンポン玉転がしゲーム」など、クラスごとに様々な活動を楽しむことができました。

初めは緊張していた児童も、中学部・高等部のお兄さん、お姉さんにやさしくリードしてもらいながら一緒に活動をする中で自然に笑顔があふれていきました。学部を越えた温かいつながりを感じる交流会となりました。



◆ ◆ ◆ 中学部 ◆ ◆ ◆



11月26日(水)、ネーブルみつけに施設訪問に行きました。ネーブルみつけでは、地域の交流の場として様々な工夫がなされていることを学ぶことができました。

12月12日(金)にネーブルみつけにて作業製品の販売を行いました。

想像以上の売り上げにびっくりしました！商品の陳列・補充、お客様の対応や会計、プレゼント渡しなど、みんなで力を合わせてやり遂げました。

保護者の皆様にもたくさん来場していただきました。ありがとうございました。



◆ ◆ ◆ 高等部 ◆ ◆ ◆



10月27日(月)～11月14日(金)に後期職場・校内実習がありました。年に2回行われる実習ですが、3年生にとっては最後の機会となり、卒業後の進路を見据えて真剣に望む姿が見られました。

11月27日(木)、1・2年2組はネーブルみつけに校外学習へ行きました。総合学習で封筒から切り取った古切手を市のまちづくり課に届け、作業学習で分別したペットボトルキャップで作った作品を施設内に飾ってきました。また、市民の皆様にもキャップ収集に協力していただけるよう、回収箱を設置しました。

